

事業番号	08 06 09	事業改善シート(26年度実施事業分)			<input type="checkbox"/> 予算要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 点検	
事業名	農業大学校研修事業 (農業で夢をかなえる支援事業)				部局	農政部			
					課・室	農村振興課			
総合5か年計画	プロジェクト	2-3-1 農山村産業クラスター形成プロジェクト 3-4-1 環境・エネルギー自立地域創造プロジェクト 2-6-3 誇りある暮らし実現プロジェクト			担当課	E-mail	noson@pref.nagano.lg.jp		
	施策の総合的展開	1-3 夢に挑戦する農業 1 夢ある農業を実践する経営体の育成 2-1 魅力ある地域の創造と発信 5 移住・交流の推進				実施期間	H22 ~		

1 事業の概要

目指す姿	多様な担い手の育成のための研修拠点としてカリキュラムを編成し研修を行うことにより、農業の担い手確保・育成を図るとともに、県民の農業への理解を促進する。また、農ある暮らしを志向する者を対象に、農ある暮らし入門研修を新設し移住希望者等に農業の楽しさを伝える。			
現状(予算編成時)	長野県で就農したい人が就農に向けて研修する新規就農里親前基礎研修、農作業を体験する就農体験研修、農家子弟、新規就農者、農村女性等が農業経営に必要な技術向上のために研修する農業機械利用技能研修、農業に関心のある県民に農業理解の促進を図るための農業体験研修などを実施している。平成24年度は923名が研修を受講した。			
県が関与する理由	県関与の必要性あり	【左記の説明、根拠法令等】 就農希望者、農業者、一般県民、移住希望者まで対象者を広く組める場所は他に無いため、県が実施していく必要がある。		
	県民との協働による実施： 実施中			

成果目標・事業内容	① 成果目標(H26)					
	新規就農支援受講者数:105人 農業技術力向上支援受講者数:480人 農とのふれあい受講者数:610人					
	② 事業内容 (単位:千円)					
	項目	実施方法	H26事業実績		H27	
			(当初)	(決算)	(当初)	
新規就農支援	直接	・新規就農里親前基礎研修:7人 (就農するための基礎技術等を学ぶ1年間の研修) ・就農体験研修:6回、87人 (農業に興味がある方が農業体験をする1泊2日の研修)		2,231	2,151	2,457
農業技術力向上支援	直接	・農業機械利用技能研修(大特):7回、161人 (大型特殊(農耕車限定)免許取得のための研修) ・農業機械利用技能研修(けん引):5回、91人 (けん引(農耕車限定)免許取得のための研修) ・農業機械利用技術向上研修:14回、214人 (トラクター、SS等農業機械利用技術向上のための研修) ・農業技術・経営スキルアップ研修:4回、52人 (就農後5年未満の農業者対象の技術・経営研修)		2,144	2,488	2,144
農とのふれあい	直接	・農ある暮らし入門研修:8回、182人 ・親子農業体験:8回、161人 (農業や食への理解を深めるための農業体験研修) ・その他体験研修:7回、159人 (農業関連企業、児童等の農業体験研修等)		860	219	861
		合計	5,235	4,858	5,462	

事業 コスト	区 分(単位:千円)	24年度	25年度	26年度	27年度
	前年度繰越				
	当初予算	4,688	4,675	5,235	5,462
	補正予算				
	合計(A)	4,688	4,675	5,235	5,462
	Aの財源				
	一般財源	1,666	1,401	1,222	1,180
	県債				
	国庫支出金	1,662	1,492	1,357	1,247
	その他	1,360	1,782	2,656	3,035
決算額(B)	4,640	4,675	4,858		
概算人件費					
職員数(人)	4.00	4.00	4.00	4.00	
概算人件費(C)	33,032	33,032	33,032	33,032	
概算事業費(B(A)+C)	37,672	37,707	37,890	38,494	

成果目標の達成状況					
項目	H25末(実績)	H26			H27目標
		目標	成果	達成状況	
新規就農支援受講者数	51人	105人	94人	未達成	80人
農業技術力向上支援受講者数	375人	480人	518人	達成	378人
農とのふれあい受講者数	401人	610人	502人	未達成	477人

目標に対する成果の状況	<ul style="list-style-type: none"> 新規就農支援研修は、里親前研修を経ずに農業者(里親)の下での研修を希望する方が多く、研修の受講者数は目標を下回った。 農業技術力向上支援研修は、農業後継者等に対し、大特、けん引の免許が得られることなどのPRに努めたことにより目標を上回った。 農とのふれあい研修の研修受講者数は、PR不足により特に児童等農業体験研修の申込みが減少し、目標を下回った。
-------------	--

2 今後の事業の方向性

今後、事業をどのようにしていきたいか	<input type="checkbox"/> 事業を実施しない <input type="checkbox"/> 事業を見直して実施 <input checked="" type="checkbox"/> 事業を現行どおり実施
	<ul style="list-style-type: none"> 農業後継者や、県外から長野県内での就農を目指す新規就農者に対する技術力、経営力の向上を図る再教育の場としての役割を果たすため、研修内容の充実・強化をしていく。 県内で農業生産を楽しみながら、移住生活を希望する者向けに「農ある暮らし入門研修」を引き続き実施し、移住交流促進のための研修を充実していく。農とのふれあい研修についてはPR・周知につとめ、受講者の増加を図っていく。